

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 プロルート丸光

コード番号 8256 URL <http://www.proroute.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 佳央

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 原田 一美

TEL 06-6262-0303

四半期報告書提出予定日 平成23年2月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年3月21日～平成22年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	19,322	△9.3	△268	—	△402	—	△394	—
22年3月期第3四半期	21,297	—	410	—	294	—	219	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△22.00	—
22年3月期第3四半期	12.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	19,744	6,241	31.6	348.97
22年3月期	19,677	6,908	35.1	381.95

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 6,241百万円 22年3月期 6,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年3月21日～平成23年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,230	△9.1	△390	—	△560	—	△400	—	△22.36

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 18,399,340株 22年3月期 18,399,340株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 513,701株 22年3月期 336,272株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 17,950,356株 22年3月期3Q 18,074,291株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策により一部企業業績に改善の兆しが見られたものの、雇用情勢・所得環境は依然として厳しい環境にあり、個人消費の回復にはほど遠い状況で推移しました。

当社グループの属する衣服・身の回り品業界にあつては、特に消費者の節約志向および低価格志向が強く、個人消費の回復の遅れに伴う企業業績の低迷が続いております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、基幹事業であります卸売事業の成長基盤を強固にする為に、『売場商品の見直しによる営業強化』と『時期対応商品提供による販売強化』の確立を挙げ、

1. 売場売出し商品の見直しと販売促進手法の強度を上げることで来店客数増を目指す
2. 専門店、大型衣料店業態の市場拡大をするために、この業態の新規成長店開拓を推進強化
3. 商品力強化をするために、『直賃』による価格戦略を更に推進強化

を進めました。

しかしながら、小売店市場の秋物商戦悪化が影響して、第3四半期前半戦は冬物納品時期が遅れ苦戦を強いられました。また、後半戦は、気候が例年並みに戻り、客数増の兆しもあつて、防寒要素の強い商品に活気が戻り業績の回復は見られました。ただ、小売市場全体の環境は厳しく、一部の専門店等に伸びはあるものの、厳しい経営環境が続いております。

さらに、連結子会社にて売掛金の回収懸念があり、2億12百万円の貸倒引当金の計上及び棚卸評価損57百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の卸売事業における売上高は72億07百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業損失は1億2百万円（前年同四半期は営業利益2億45百万円）となり、子会社小売事業では、売上高は1億32百万円（前年同四半期比56.9%減）、営業損失は20百万円（前年同四半期は営業利益13百万円）となりました。

当社グループ全体の当第3四半期連結会計期間の売上高は73億40百万円（前年同期比4.1%減）、営業損失は1億22百万円（前年同四半期は営業利益2億58百万円）、経常損失は1億61百万円（前年同四半期は経常利益2億25百万円）、四半期純損失は2億11百万円（前年同四半期は四半期純利益1億30百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の卸売事業における売上高は188億95百万円（前年同四半期比7.7%減）、営業損失は2億13百万円（前年同四半期は営業利益4億7百万円）となり、子会社小売事業では、売上高は4億27百万円（前年同四半期比48.4%減）、営業損失は57百万円（前年同四半期は営業利益3百万円）となりました。

当社グループ全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は193億22百万円（前年同四半期比9.3%減）、営業損失は2億68百万円（前年同四半期は営業利益4億10百万円）、経常損失は4億2百万円（前年同四半期は経常利益2億94百万円）、四半期純損失は3億94百万円（前年同四半期は四半期純利益2億19百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は197億44百万円となり、前連結会計年度末に比べて67百万円増加いたしました。これは主として売掛金が4億66百万円増加した一方で、現金及び預金が2億9百万円、商品が1億86百万円減少したことによるものであります。

負債合計は135億3百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億34百万円増加いたしました。これは主として社債及び1年内償還予定の社債が9億15百万円、その他(預り金等)が3億15百万円、その他(リース債務等)が2億38百万円、短期借入金が1億円増加する一方で、長期借入金が8億32百万円減少したことによるものであります。

純資産は62億41百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億67百万円減少いたしました。これは主として利益剰余金が5億75百万円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて2億9百万円減少し、9億47百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は10百万円(前年同四半期比96.7%減)となりました。収入の主な内訳は、減価償却費2億64百万円、貸倒引当金の増加額2億9百万円、たな卸資産の減少額1億86百万円、法人税等の還付額1億49百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失4億5百万円、売上債権の増加4億72百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億13百万円(前年同四半期比12.5%減)となりました。収入の主な内訳は差入保証金の回収による収入21百万円であり、支出の主な内訳は、固定資産の取得による支出78百万円、差入保証金の差入による支出55百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は85百万円(前年同四半期は2億26百万円の収入)となりました。収入の主な内訳は、社債の発行による収入10億円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出8億32百万円、配当金の支払額1億80百万円、社債の償還による支出85百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想につきましては、第3四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、平成22年10月21日に公表の予想数値を平成23年1月28日に修正いたしました。

詳細につきましては、平成23年1月28日に開示しております「業績予想の修正並びに営業損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	947,317	1,156,994
受取手形	5,876	—
売掛金	2,620,586	2,153,642
商品	1,098,314	1,284,720
繰延税金資産	142,602	135,541
その他	128,441	248,988
貸倒引当金	△1,420	△1,507
流動資産合計	4,941,718	4,978,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,233,727	3,361,708
機械装置及び運搬具(純額)	37,887	44,842
工具、器具及び備品(純額)	188,256	215,544
土地	9,944,960	9,944,960
リース資産(純額)	109,808	—
有形固定資産合計	13,514,640	13,567,055
無形固定資産		
投資その他の資産	231,039	37,954
投資有価証券	315,548	359,400
繰延税金資産	288,245	289,631
差入保証金	547,846	537,247
その他	256,159	48,614
貸倒引当金	△350,225	△140,761
投資その他の資産合計	1,057,573	1,094,134
固定資産合計	14,803,253	14,699,144
資産合計	19,744,971	19,677,523

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	992,295	964,412
短期借入金	3,100,000	3,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,109,884	1,109,884
1年内償還予定の社債	314,000	170,000
未払法人税等	10,285	15,856
未払費用	399,106	357,369
賞与引当金	47,647	122,870
その他	407,038	91,567
流動負債合計	6,380,256	5,831,960
固定負債		
社債	1,601,000	830,000
長期借入金	4,370,876	5,203,289
退職給付引当金	711,823	712,990
役員退職慰労引当金	100,690	90,298
その他	338,762	100,019
固定負債合計	7,123,152	6,936,597
負債合計	13,503,408	12,768,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,861,940	1,861,940
資本剰余金	1,456,450	1,456,450
利益剰余金	3,021,549	3,597,103
自己株式	△178,513	△133,774
株主資本合計	6,161,425	6,781,718
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	78,851	117,407
繰延ヘッジ損益	1,285	107
評価・換算差額等合計	80,137	117,515
少数株主持分	—	9,731
純資産合計	6,241,563	6,908,965
負債純資産合計	19,744,971	19,677,523

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)
売上高	21,297,022	19,322,551
売上原価	16,531,634	15,305,874
売上総利益	4,765,388	4,016,676
販売費及び一般管理費	4,354,971	4,285,584
営業利益又は営業損失(△)	410,416	△268,907
営業外収益		
受取利息	6,265	154
受取配当金	5,757	6,311
受取賃貸料	9,817	10,391
法人税等還付加算金	—	5,888
その他	15,690	17,915
営業外収益合計	37,529	40,662
営業外費用		
支払利息	121,529	124,565
支払手数料	19,500	13,208
社債発行費	—	25,568
貸倒引当金繰入額	6,907	—
その他	5,038	11,299
営業外費用合計	152,975	174,641
経常利益又は経常損失(△)	294,970	△402,887
特別利益		
賞与引当金戻入額	105,687	26,283
退職給付制度終了益	41,688	—
保険代理店業務譲渡益	12,000	—
その他	—	4,034
特別利益合計	159,376	30,318
特別損失		
減損損失	10,846	10,510
店舗閉鎖損失	6,000	11,744
投資有価証券評価損	4,347	7,562
固定資産除却損	2,213	613
その他	—	2,100
特別損失合計	23,407	32,531
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	430,939	△405,100
法人税、住民税及び事業税	45,812	5,408
法人税等調整額	165,810	△5,854
法人税等合計	211,622	△445
少数株主損失(△)	—	△9,731
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219,317	△394,922

【第3四半期連結会計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年9月21日 至平成21年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月21日 至平成22年12月20日)
売上高	7,654,640	7,340,177
売上原価	5,947,094	5,866,876
売上総利益	1,707,545	1,473,301
販売費及び一般管理費	1,449,171	1,595,912
営業利益又は営業損失(△)	258,374	△122,611
営業外収益		
受取利息	2,033	9
受取配当金	1,571	1,627
受取賃貸料	3,299	3,570
その他	6,845	7,517
営業外収益合計	13,750	12,724
営業外費用		
支払利息	40,043	39,602
支払手数料	—	6,784
貸倒引当金繰入額	4,104	—
その他	2,071	5,434
営業外費用合計	46,219	51,821
経常利益又は経常損失(△)	225,905	△161,708
特別利益		
退職給付制度終了益	41,688	—
特別利益合計	41,688	—
特別損失		
減損損失	10,846	—
店舗閉鎖損失	5,000	953
投資有価証券評価損	1,514	—
特別損失合計	17,361	953
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	250,233	△162,661
法人税、住民税及び事業税	△27,446	1,758
法人税等調整額	147,390	55,784
法人税等合計	119,943	57,542
少数株主損失(△)	—	△8,737
四半期純利益又は四半期純損失(△)	130,289	△211,466

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月21日 至平成21年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月21日 至平成22年12月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	430,939	△405,100
減価償却費	229,620	264,216
減損損失	10,846	10,510
固定資産除却損	2,213	613
店舗閉鎖損失	6,000	11,744
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,255	209,377
賞与引当金の増減額(△は減少)	△137,802	△75,223
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△210,349	△1,167
受取利息及び受取配当金	△12,022	△6,466
支払利息	121,529	124,565
売上債権の増減額(△は増加)	△607,776	△472,820
たな卸資産の増減額(△は増加)	21,968	186,810
仕入債務の増減額(△は減少)	68,387	27,882
その他	78,650	81,118
小計	8,462	△43,937
利息及び配当金の受取額	12,022	6,466
利息の支払額	△118,323	△118,325
法人税等の支払額	△223,679	△4,184
法人税等の還付額	—	149,498
営業活動によるキャッシュ・フロー	△321,518	△10,481
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△76,938	△78,468
投資有価証券の取得による支出	△13,029	△1,312
貸付けによる支出	△81,150	△750
貸付金の回収による収入	18,250	625
出資金の払込による支出	—	△20
出資金の回収による収入	10	—
差入保証金の差入による支出	△1,800	△55,355
差入保証金の回収による収入	25,039	21,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,617	△113,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,830,000	100,000
長期借入れによる収入	5,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△658,556	△832,413
社債の発行による収入	—	1,000,000
社債の償還による支出	—	△85,000
リース債務の返済による支出	—	△42,993
自己株式の取得による支出	△12,960	△44,739
配当金の支払額	△271,522	△180,630
財務活動によるキャッシュ・フロー	226,961	△85,776
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△224,174	△209,676
現金及び現金同等物の期首残高	810,473	1,156,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	586,298	947,317

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。